



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月10日

上場会社名 株式会社 巴川製紙所

上場取引所 東

コード番号 3878 URL <http://www.tomoegawa.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 井上 善雄

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営戦略本部長 (氏名) 山口 正明

TEL 054-256-4319

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	17,842	△16.1	286	△81.6	211	△85.0	64	△92.9
23年3月期第2四半期	21,260	4.0	1,552	225.6	1,405	201.8	916	301.0

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 37百万円 (△94.6%) 23年3月期第2四半期 700百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	1.27	—
23年3月期第2四半期	17.97	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	43,917	12,163	25.5
23年3月期	46,877	12,359	24.3

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 11,194百万円 23年3月期 11,412百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	37,000	△11.1	1,000	△61.3	1,100	△55.7	700	△59.4	13.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	51,947,031 株	23年3月期	51,947,031 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	939,382 株	23年3月期	935,973 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	51,009,132 株	23年3月期2Q	51,013,107 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当資料に記載の業績予想は、決算発表日において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は、様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、【添付資料】P. 3「当四半期の連結業績に関する定性的情報」(3)連結業績予想に関する定性的情報 をご覧下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表等	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	7
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響により停滞していた生産活動に改善の兆しが現れたものの、歴史的な円高やデフレの進行等で総じて厳しい状況で推移しました。また、海外経済についても、欧州の金融不安、米国景気の減速に加え、これまで好調な伸びを示していた中国などの新興国の経済成長に鈍化の兆しが現れるなど、先行きの不透明感が高まりました。

このような経済状況の下、当社グループの主力事業であるプラスチック材料加工事業は、第1四半期(4~6月)後半から震災による消費者マインドの低下や円高の影響等により一部製品の受注が減少したことに加え、第2四半期(7~9月)が年末・年始商戦に向けた一部製品の受注の端境期であったことから、全般的に低調な受注状況に推移しました。また、凸版印刷株式会社と共同で進めている液晶ディスプレイ向け光学フィルム関連事業において販売活動を凸版印刷株式会社に集約した影響もあり、当第2四半期連結累計期間の売上高は、景気の回復局面にあった前年同期に比べ、34億1千7百万円減収の178億4千2百万円(16.1%減)となりました。

利益面につきましては、コスト削減に取り組むとともに、一部の生産設備を休止するなど受注状況に応じて生産調整を実施したものの、売上高の減少に加え、円高等の影響を受けたことなどから、当第2四半期連結累計期間における営業利益は前年同期に比べ12億6千5百万円減益の2億8千6百万円(81.6%減)となり、経常利益は前年同期に比べ11億9千4百万円減益の2億1千1百万円(85.0%減)となりました。また、四半期純利益は前年同期に比べ8億5千1百万円減益の6千4百万円(92.9%減)となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

①プラスチック材料加工事業

フラットパネルディスプレイ関連製品は、ハイエンドモデルのテレビ販売の伸び悩み等により受注が減少しました。半導体関連製品は、パソコン需要の低迷等に加え、震災直後の仮需の反動で第1四半期(4~6月)後半から受注が軟調となりました。また、化成品(トナー)は円高等の影響を受けて低調な受注状況で推移しました。これに上記の液晶ディスプレイ向け光学フィルム関連事業の販売体制見直しの影響が加わり、売上高は112億2千2百万円(対前年同期比21.6%減)となりました。

プラスチック材料加工事業の利益面につきましては、受注減の影響を受けたことなどから、セグメント(営業)利益は1億1千6百万円(対前年同期比92.2%減)となりました。

②製紙・塗工紙関連事業

製紙・塗工紙関連事業は、塗工紙分野の一部製品がライフサイクルの関係から需要が減少する中で、機能紙分野の新製品が成長したことなどから、売上高は65億7千6百万円(対前年同期比4.6%減)となりました。

製紙・塗工紙関連事業の利益面につきましては、新製品の成長に加え収益改善対策の効果などから、セグメント(営業)利益は1億2千6百万円(対前年同期比746.3%増)となりました。

(参考) セグメントの概況

(単位:百万円 比率:%)

	売上高			セグメント利益		
	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減率	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減率
プラスチック材料加工事業	14,318	11,222	△21.6	1,495	116	△92.2
製紙・塗工紙関連事業	6,892	6,576	△4.6	14	126	746.3
その他	49	43	△11.5	19	23	20.6
計	21,260	17,842	△16.1	1,529	266	△82.6
調整額	—	—	—	22	19	—
四半期連結損益及び 包括利益計算書計上額	21,260	17,842	△16.1	1,552	286	△81.6

(注) セグメント利益は営業利益に相当します。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、439億1千7百万円で、前連結会計年度末に比べ29億6千万円の減少となりました。流動資産は216億円で、前連結会計年度末に比べ32億5千9百万円の減少となり、その主な要因は現金及び預金・受取手形及び売掛金が減少したことによるものです。固定資産は223億1千6百万円で、前連結会計年度末に比べ2億9千8百万円の増加となり、その主な要因は非連結子会社設立に伴う投資有価証券の取得によるものです。

負債合計は、317億5千3百万円で、前連結会計年度末に比べ27億6千4百万円の減少となりました。流動負債は211億9千5百万円で、前連結会計年度末に比べ20億4千3百万円の減少となり、その主な要因は支払手形及び買掛金の減少によるものです。固定負債は105億5千8百万円で、前連結会計年度末に比べ7億2千万円の減少となり、その主な要因は長期借入金の減少によるものです。なお、当第2四半期連結会計期間末における有利子負債残高は187億3百万円と、前連結会計年度末に比べ10億6千4百万円の減少となりました。

また、純資産は、121億6千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億9千6百万円の減少となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半連結累計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ12億6千5百万円減少し、50億8千9百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、たな卸資産が8億1千6百万円増加したことや法人税等の支払額が7億8百万円あったものの、減価償却費10億7千8百万円の計上に加え、売上債権が20億4百万円減少したことなどにより7億2千8百万円の増加となり、前年同期と比べ29億7千9百万円の減少となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出が6億9千6百万円あったことなどから、7億1千5百万円の減少となり、前年同期と比べ4億5千3百万円の減少となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入による収入が18億2千7百万円あったものの、長期借入金の返済による支出が29億8千5百万円あったことなどから、13億1千万円の減少となり、前年同期と比べ1億3千5百万円の減少となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

年度後半の見通しにつきましては、東日本大震災の本格的な復興需要が期待される一方で、長期にわたる円高の定着や世界経済の減速懸念に加え、今後はタイの洪水災害の影響による生産停滞なども想定されるなど、景気の先行きは不透明で予断を許さない状況が続くものと見込まれます。

このような厳しい経済環境の下、当社グループは、ワールドワイドな拡販活動と効率的な新製品開発により収入の安定・拡大を図るとともに、国内外拠点の連携を図り、生産体制の効率化とコスト削減をより一層強化・推進してまいります。

なお、通期の業績予想につきましては、平成23年8月10日に公表した業績予想において、製品受注サイクルに加え、円高の進行や景気の下振れ等の要素をある程度織り込んでいることから修正しておりません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表等

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,413	5,143
受取手形及び売掛金	9,026	6,960
製品	5,438	5,857
仕掛品	75	72
原材料及び貯蔵品	1,876	2,156
その他	2,042	1,422
貸倒引当金	△13	△12
流動資産合計	24,859	21,600
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,569	8,300
機械装置及び運搬具（純額）	5,214	5,377
その他（純額）	5,030	5,101
有形固定資産合計	18,814	18,779
無形固定資産	457	387
投資その他の資産		
その他	2,748	3,152
貸倒引当金	△2	△2
投資その他の資産合計	2,746	3,150
固定資産合計	22,018	22,316
資産合計	46,877	43,917
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,588	6,533
短期借入金	1,494	1,594
1年内返済予定の長期借入金	9,821	9,514
未払法人税等	733	104
賞与引当金	525	497
その他	3,075	2,950
流動負債合計	23,239	21,195
固定負債		
長期借入金	8,451	7,594
退職給付引当金	1,928	2,111
役員退職慰労引当金	141	151
その他	757	700
固定負債合計	11,278	10,558
負債合計	34,518	31,753

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,894	2,894
資本剰余金	3,582	3,582
利益剰余金	6,115	5,951
自己株式	△323	△323
株主資本合計	12,269	12,105
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	65	79
繰延ヘッジ損益	△2	—
為替換算調整勘定	△920	△991
その他の包括利益累計額合計	△857	△911
少数株主持分	947	969
純資産合計	12,359	12,163
負債純資産合計	46,877	43,917

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	21,260	17,842
売上原価	17,130	15,046
売上総利益	4,129	2,796
販売費及び一般管理費	2,577	2,510
営業利益	1,552	286
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	16	18
持分法による投資利益	—	59
補助金収入	41	41
その他	88	106
営業外収益合計	147	227
営業外費用		
支払利息	228	180
持分法による投資損失	22	—
休止費用	—	71
その他	43	50
営業外費用合計	293	302
経常利益	1,405	211
特別利益		
固定資産売却益	13	0
その他	7	—
特別利益合計	21	0
特別損失		
子会社役員特別退職金	—	20
固定資産除却損	19	8
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	6	—
災害による損失	—	10
その他	0	—
特別損失合計	26	40
税金等調整前四半期純利益	1,400	171
法人税、住民税及び事業税	495	95
法人税等調整額	△49	△8
法人税等合計	446	86
少数株主損益調整前四半期純利益	954	84
少数株主利益	37	19
四半期純利益	916	64

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主利益	37	19
少数株主損益調整前四半期純利益	954	84
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△119	13
繰延ヘッジ損益	7	2
為替換算調整勘定	△136	△64
持分法適用会社に対する持分相当額	△5	1
その他の包括利益合計	△254	△46
四半期包括利益	700	37
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	668	11
少数株主に係る四半期包括利益	31	26

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,400	171
減価償却費	1,162	1,078
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△8	△0
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	9	9
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△1	183
受取利息及び受取配当金	△18	△19
支払利息	228	180
有形固定資産売却損益 (△は益)	△13	△0
補助金収入	△41	△41
売上債権の増減額 (△は増加)	687	2,004
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△131	△816
仕入債務の増減額 (△は減少)	599	△976
その他	123	△171
小計	3,998	1,602
利息及び配当金の受取額	18	19
利息の支払額	△232	△205
法人税等の支払額	△116	△708
その他	41	20
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,707	728
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△240	△696
投資有価証券の取得による支出	△3	△103
貸付金の回収による収入	—	300
子会社株式の取得による支出	—	△208
その他	△17	△6
投資活動によるキャッシュ・フロー	△261	△715
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△179	105
長期借入れによる収入	4,943	1,827
長期借入金の返済による支出	△6,130	△2,985
少数株主からの払込みによる収入	159	—
配当金の支払額	—	△255
少数株主への配当金の支払額	—	△4
その他	31	3
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,174	△1,310
現金及び現金同等物に係る換算差額	△65	31
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,205	△1,265
現金及び現金同等物の期首残高	5,618	6,355
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,824	5,089

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 財務諸表 計上額 (注) 3
	プラスチック 材料加工 事業	製紙・塗工 紙関連事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	14,318	6,892	21,210	49	21,260	—	21,260
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	192	192	464	656	△656	—
計	14,318	7,085	21,403	513	21,917	△656	21,260
セグメント利益	1,495	14	1,509	19	1,529	22	1,552

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流サービス等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額22百万円は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 財務諸表 計上額 (注) 3
	プラスチック 材料加工 事業	製紙・塗工 紙関連事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	11,222	6,576	17,798	43	17,842	—	17,842
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	0	60	60	440	501	△501	—
計	11,222	6,637	17,859	484	18,344	△501	17,842
セグメント利益	116	126	242	23	266	19	286

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流サービス等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額19百万円は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。